

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハート 上津クオーレ		
○保護者評価実施期間	R6年 12月 16日		～ R6年 12月 23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	R6年 11月 27日		～ R6年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	感覚統合を促すあそびや、活動を取り入れている。	認知力を強化する事で、生活動作や学習、コミュニケーションの土台作りを行っている。	コグトレを導入している。アセスメントをとり、データを蓄積する事で、個々に適した活動や課題を提供できる。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者へ周知すべき活動事項は、開催前にお便りを発行し、実施後はブログやニュースレターに挙げて報告したりしているも、認知されていない保護者が毎年必ず数名おられる。	周知媒体は、連絡帳への記録やブログ、ニューレター。お知らせはそれぞれ1回のみなので、保護者の記憶に残りにくい可能性がある。	周知する為の媒体や、回数の見直し。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		上津クオーレ		公表日		R7年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		事業所のスペースに合った人数を受け入れている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11		基準人員プラス2名の配置で支援を行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		段差等には配慮を行っており、階段に手すりを付けている。	児童の特性や、その時の状況に合わせて、環境を整えていく必要がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		支援後に毎日清掃を行い、児童受け入れ前にも危険箇所等がないか確認を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11		活動毎に適した環境を提供している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11		入社後の新人研修にて周知する他、毎日の振り返りを通してサイクルを遂行している。	サイクルを遂行するだけでなく、新たな視点や意見を抽出できるように、意見の出しやすい環境づくりを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		配布だけでなく、その後の回収の声掛けを行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		日々のミーティングの他、スーパービジョンを行ったり、会議の際に意見のやり取りを行ったりして、業務改善に繋げている。	より良い支援を提供するために、常に意見の交換が出来る環境をつくっていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		11	定期的に内部監査を実施している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		年間の研修プログラムを作成して、研修には全員が参加できる機会を設けている。		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		作成し、公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11		計画書更新時には必ず保護者や学校と支援会議を行い、計画書に反映している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		日々のミーティングで児童の情報共有を行う他、カンファレンスで意見を出し合い、共通した支援目標の設定を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		更新毎に共有を行い、計画を遂行している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11		保護者から受け取った医師の意見書や発達検査結果等と、日々の支援記録等を照らし合わせ、支援に反映している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		全ての項目を網羅した計画書を策定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		事業所毎ミーティングの他、月に一度法人全体での職員会議で立案している。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	都度ミーティングを行い、様々な体験ができるように、児童に合わせた活動を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11	発達や状況に合わせて目標設定を行い、専門的支援の導入し、個別、集団双方の支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	午後からミーティングで、予定確認、情報共有等を行い、スタッフ間で連携し、共通した支援が提供できる体制をとっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	送迎業務で当日中には時間の確保が難しいので、翌日の午前中に振り返りを行い、情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	前日の支援記録をもとに、支援会議を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	毎月、月末に個々の評価会議を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11	基本活動を網羅した計画書を作成し、ガイドラインに沿った活動を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11	児童からの話に耳を傾け、適宜環境設定を行っている他、複数選択肢を準備し、自己決定しやすい環境を提供している。	不要な声掛けを減らし、適切な環境設定を増やしていく。過支援にならないように、スタッフの意識を高める。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	各会議には児童発達責任者や子供の状況に精通した職員が出席し、関係機関との連携を図っている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11	各機関と連携して支援を行う体制がとれている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11	必要に応じて、送迎時に加え、電話等にて行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	幼児研究所を利用していた児童については、資料をいただき、児童発達支援を受けていた児童については、事業所へ情報の提供をお願いしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11	移行先に出向いて、情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	研修がある際は参加している。	研修情報を集め、必要に応じて参加していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11	現在実施していない	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11	現在参加していない	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11	連絡帳や送迎時を利用し情報共有をおこなっている。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	保護者会での勉強会や面談等を開催し、寄り添う支援に努めている。	保護者の要望に応じて、情報提供を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11	契約、計画更新、初回請求月、法改正時等、必要な時期に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	支援会議や聞き取り、相談を行う際に、児童や保護者から意向の確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11	都度、確実にしている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		常に寄り添う支援に努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	11		保護者会、親子レクリエーション等実施し、保護者同士の関りの機会を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		相談等があった際には、迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11		毎月の会報誌(ニュースレター)、ホームページ内のブログ等で発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		書類は鍵付きの書庫で保管している。また、支援中に必要な書類等も児童の目に入らない様に工夫している。	スタッフ間で、気付きがあった際には、互いに声を掛け合う様に徹底する。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		該当児童、保護者ともに伝わる方法で対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	11		付近の高齢施設との交流を行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		マニュアル策定、周知、訓練、いずれも実施している。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		計画書を策定し、訓練実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11		契約時の初回聞き取り、定期的開催するモニタリング会議等にて行っている。	てんかん発作等、該当児童がいる際は疾患の知識や発作の対応法等、スタッフ間で共有する。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		保護者から指示書を受け取り、対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11		計画書の策定、研修や訓練を実施している。その他、清掃時や支援前に環境チェックを実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11		訓練実施の報告等は連絡帳や、ブログ、ニュースレター等で周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		月末の職員会議時に発表し、情報共有や再発防止の検討会等行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		定期的な研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11		該当児童なし。虐待と同じく、定期的な研修を行い、知識の向上に努めている。		